

重点取組分野	横浜市立今宿小学校	令和 3 年度	学校評価報告書	総括
	具体的取組		自己評価結果	
生きてはたらく(知)	主体的に学ぶ姿勢を育てるために①授業研究会、少人数指導、教科担当制を実施する。②朝学習、朝読書、家庭学習を活用する。③教科領域の研修等を実施する。		「自分の考えを発表する」「分かりやすい」の割合が増えました。6年生の全国学状の結果が前回の調査時よりポイントがよくなりました。主体的で対話的な深い学びを実現しようと校内での研究を進め、講師の先生にご指導いただくなど授業改善に取り組んできたことが成果となって表れてきていると思われます。 4年生から5年生にかけては家庭学習の目標時間が45分から60分へ増えるため例年は前年より数値が低くなっていましたが、今年度初めて前年度より数値がよくなりました。自ら学ぶ姿勢が少しずつ定着してきていると思われます。	B
豊かな心(徳)	多角的・多面的に物事を検討する力、多様性を認める心を育てるために①「道徳の時間」の充実、社会的スキルプログラム、人権学習プログラムを実施する。②ペア学年活動、児童会活動で絆を深める活動を実施する。③人権研修を実施する。		「話したり聞いたりして人と関わることが好き」「人の気持ちを考えて行動する」の割合は目標値を上回りました。道徳研修や社会的スキル横浜プログラムを実施したこと、それらを活かした授業改善に取り組んだ成果だと考えられます。 「自分にはよいところがある」「自分のことが好き」と答える児童が少減しましたが、異学年とのふれあいが減ったことも原因の一つだと考えています。他者との良好な関係づくりを意図的に行ったり、異学年とのかわりをもつ活動を計画的に行ったりして、自己肯定感や自己有用感を高めていきたいと思えます。	B
健やかな体(体)	自らの健康・体力に関心をもち高めるために①体力テスト等、自分の力を基に考える体育科授業を実施する。②食育の授業、体験活動等を実施する。③学校保健委員会を中心に自分の健康状態を改善しようとする活動を実施する。		「30分以上運動をしている」「8時間以上寝ている」割合が減りました。体育・健康プランを見直し、自ら健康な生活を送れるよう取り組んでいます。 「携帯やスマホを操作している」割合が増えました。端末を持ち帰った時期もあるのですが、今後注視していく必要を感じています。学校でも端末の使い方についてルールを考えさせていきたいと思えます。 学力の向上と朝食を食べる割合がともよくなっていることから、朝食の大切さを感じます。今後とも、朝食を食べて登校できるようにお願いします。	B
キャリア教育(公)	夢をもち、社会で活躍する力をつけるために①自分づくりパスポートを活用しめあてを立て振り返る力を育てる。②地域と連携した学習を通して、地域貢献・社会参画する力を育てる授業を実施する。③プロジェクト型活動を実施する。		コロナの影響がある中でも、「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「将来の夢や目標を持っている」「誰かの役に立つ人になりたい」の割合が前年度より増えました。学びを活かして取り組む「総合の時間」が楽しいと答える児童が増えていることや行事において思いを大切に学習をすすめたことが影響していると思われる。 また、キャリアパスポートを活用し、めあてと振り返りを大切にすることも関係していると思われます。	B
国際教育(開)	世界に目を向ける力を育てるために①外国語活動、外国語科の授業改善と研修を実施する。②SDGs(ESD)、環境教育、プログラミング教育、オリンピックパラリンピック教育の授業を実施する。		「英語でコミュニケーションをとることが楽しい」「生活科・総合の時間で学ぶことが好き」の割合が増えました。英語活動でアクティビティを取り入れて学習したこと、「生活科・総合の時間」で外部講師を招いて本物を学ぶ楽しさに触れたこと、端末を利用して情報を収集したことなどによる授業改善の成果だと思えます。	B
児童理解・指導	①「今宿スタンダード」をもとに、朝会等も活用して統一した指導をし、問題行動の未然防止に努める。②診断やYPアセスメント等を活用して指導計画を作成し、児童の実態に応じた指導を行う。③関係機関や家庭と連携して支援計画を作成し、児童を中心に据えた特別支援教育を行う。		「学校の決まりを守っている」は3年連続、学校は安心できる場所だと思ふ」の割合が、2年連続90%を超えました。 児童面談や積極的な声掛け、小集団での学習などによって、安心して過ごせていると思えます。また、「横浜子ども会議」の取組で、各クラスで「誰にとっても居心地の良い学校づくり」について考え、あいさつ運動などに取り組んだ成果だと思えます。	A
安全管理	①避難訓練を実施し、いざという時に素早く避難できるように指導する。②児童の安全を守るよう職員研修を実施する。③施設点検、安全点検を実施し、不備な点があった時には迅速な対応に努める。		職員アンケートでは、避難訓練に真剣に取り組む、また、児童の安全を守るべく職員安全研修に臨んだことが伺えました。さらに、毎月の安全点検や年1回の施設点検を確実に実施し、不備があった際には安全係、学校事務職員、学校事務職員が連携して迅速に対応しました。	A
信頼される学校づくり	①学校広報、学校評価を充実させる。②PTAや地域と協力し登下校の安全を図る。また、関係機関と連携してスマホの危険を啓発する。③不祥事防止研修を実施し、市民から信頼される学校づくりに努める。		学校広報として、学校WEBページの充実にも努め2万を超えるアクセスがありました。また、コロナ禍で集合が難しいことから積極的に動画配信に取り組む、保護者から高い評価をいただきました。PTAや地域とも積極的に連携し「放課後自習室」「おはやしクラブ」を立ち上げることができました。来年度の地域学校協働活動の柱になるものができました。	A
いじめへの対応	①定期的なアンケートや保護者面談等で児童の状況を把握し、早期発見に努める。②いじめ防止対策委員会を定期的に開き、いじめに組織的に対応し心に寄り添った解決に努める。③児童支援専任を中心に、常に情報共有を図り、早期発見、早期対応に努める。		児童アンケートでは98%が「いじめはどんな理由があってもいけないこと」と答えました。保護者アンケートでは94%が「学校生活を安心して送っていると思う」と答えました。そして職員はいじめの早期発見、早期対応、寄り添った解決に努めたこと100%が答えるなど、積極的に、熱心にいじめの対応に当たっているとの結果になりました。悲しい思いを長引かせないように今後も取り組みたいと思えます。	A
人材育成・組織運営(働き方改革)	①キャリアステージに応じた目標を設定する。②校務のICT化、マニュアル化、情報共有化を促進し、働き方改革を推進する。③運営委員会、校内教科領域推進係を効果的、効率的に運営し校務の充実とスリム化を図る。④学年会、メンター研でOJTに取り組む。⑤チーム学年経営で働き方改革、人材育成に取り組む。		校長、副校長と全員が面談し、自分のキャリアステージに応じた目標を設定しました。校務のICT化、マニュアル化、情報共有化は、それが当たり前になるくらいに進みました。校内組織が効果的、効率的に運営し、校務の充実とスリム化も進みました。OJTによる人材育成はコロナ禍で思うようには進みませんがそれぞれの目標を達成しようとする取組は行われていました。	A
ブロック内評価後の気付き	コロナ禍にあっても、児童アンケートの結果が概ね目標値を上回っていることから、教職員が一致団結して教育活動に精一杯取り組んだことがわかると言われ、改めて本校教職員のがんばり、児童のがんばりを認識しました。児童の前向きな態度をよりよく伸ばすためには、教育の質を向上させていく必要があると気付きました。「主体的で対話的な深い学び」を実現させ「多様性を認め、多面的・多角的にものごを考える」児童を保護者、地域とともに育てていきたいと思えます。			
学校関係者評価	今宿小学校が中期学校経営方針をもとに、様々な具体的取組を実施し、成果を上げていることが伝わってきた。児童の95%が「学校の授業は分かりやすい」と答えているが、全国学状の結果は(ポイントが上がっているものの)平均以下ということから、授業の質をもっと上げていけば力が付き、学力も上がるのではないかと感じる。【公】【開】の部分は、学習プログラムを作成するなど、取り組むことを明確にするとうい。人材育成・働き方改革にも積極的に取り組んでおり、しっかりと経営し成果を上げていると感じる。			
中期取組目標振り返り	【公】【開】の部分を充実させると、自己肯定感・自己有用感向上につながるかと考えています。また、育てたい資質・能力にあった言語活動を行う事とグループワーク、思考ツールを活用する事で、思考力・判断力・表現力が高まり、学びに向かう意欲も向上すると考えています。この3年間の取組から見えてきた成果と課題を今後活かしていきたいと思えます。			